

私たちの一票が政治を変える!

参議院選挙で私たちの要求を実現しよう



東京土建のホームページ <http://www.tokyo-doken.or.jp/>
印刷部数112100部(購読料は組合費に含まれています)
年間購読料1800円(定価50円)

東京都新宿区北新宿1-8-16
東京土建一般労働組合
電話 03(5332)3971(代表)
FAX 03(5332)3972

発行人・編集人
吉川 豊

大変な時こそ憲法の考えを生かし解決を

長引くコロナ禍による不況、世界的な原材料の高騰にウクライナ危機と円安が追い打ちをかけ、仕事と暮らしを直撃しています。このような時に機能すべきセーフティーネットは、これまでの自己責任を押し付ける社会保障改悪で、その役を果たしているとは言えません。

今、私たちが求めるべきは、日本国憲法に定められた国民主権、基本的人権の尊重、平和主義に基づいた安心して暮らせる政治です。物価高騰の危機は消費税減税とインボイスの導入中止で解消し、生活の不安には社会保障の拡充、戦争の不安には、憲法九条を基にした外交努力で解決する事を求めています。

選挙に行こう!

GO VOTE!

私たちの仕事と暮らしを守る切実な要求を実現するためには、政治の大きな転換が必要です。

7月の参議院選挙のあと3年間は国政選挙がなく、与党にとっては「黄金の3年間」とも言われています。前回の参議院選挙の投票率は48.8%で二人に一人が投票していません。投票する人が増えることは、私たちの仕事と暮らしを変えていくことにつながります。私たちの一票には政治を変える力があります。

群や分会の仲間はもちろん、現場で働く仲間、身の回りの人など、多くの人々に「選挙に行こう」と呼びかけを広げましょう。

参院選に向けた 「要求実現アクション」 に参加しよう!

くらしと仕事をこわすな!

下げる消費税
インボイスは中止・延期だ6.14集会

日時 6月14日(火) 13:30~

場所 日比谷野外音楽堂

憲法25条を守れ!

本当の社会保障を取り戻す
学習決起集会

~あなたのそばに本当に生活できない人がいます~

日時 6月20日(月) 19:00~

場所 けんせつプラザ5階・WEB併用

講師 瀬戸大作(反貧困ネットワーク事務局長)

9

ジェンダー平等社会の実現

8

コロナ対策としての
中小業者支援策の抜本的拡充

7

再生可能エネルギーへの
転換で原発ゼロの実現

6

核兵器廃絶・人権・自由・団体行動を
監視・制約する法制度の廃止・撤廃

5

消費税減税とインボイス制度の撤回

4

憲法で保障された社会保障の制度拡充と
建設国保の育成強化

3

中小建設業者への事業支援拡充

2

建設従事者の賃金引上げ等、人が育ち
魅力ある建設産業への民主的転換

1

コロナやウクライナ危機に乗じた改憲策動の
阻止と命と人権が守られる政治への転換

参議院選挙
に向けた
東京土建
9つの要求

要求実現アクション

を旺盛に取り組み
大きな波をおこそう



参議院選挙に向けた「要求実現アクション」の動画を見よう



動画は
こちら



身の回りの仲間などに「選挙に行こう」と呼びかけよう



分会執行委員会・群会議などで、平和や社会保障、インボイスなどの
学習を行おう



地域での宣伝など、草の根から「選挙に行こう」の呼びかけを広げよう

7月は
参議院
選挙

東京土建9つの要求が
実現できる政治への転換を

コロナ禍で露呈した命を軽視するぜい弱な社会保障、零細業者や消費者を苦しめるインボイス制度。そしてウクライナ危機に乗じた憲法改正・軍拡・核共有論で、戦後最悪と言われる「戦争の

危機」。いずれも建設従事者の仕事や生活、そして命をも脅かす危機的状況が眼前にあります。7月の参議院選挙は、私たちの仕事とくらし、命にかかわる重大な選挙になります。

社会保障切り捨て路線から



憲法25条をいかした 制度拡充に向けての運動強化!

1

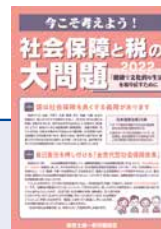
6月から「全員でできる運動」厚労省へのハガキ要請行動に取り組みます。
～全支部で400%達成を目指します!

ハガキ要請運動は、1970年に建設国保を設立した年から運動してきた歴史のある運動です。仲間の切実な思いを載せたハガキによる直接要請は、厚労省・東京都に対する国保組合の育成・強化と補助金現行水準確保の運動に向けて大きな力になっていることは間違いありません。6月から始まる建設国保予算獲得の運動、ハガキ要請へのご協力をお願いします。



2

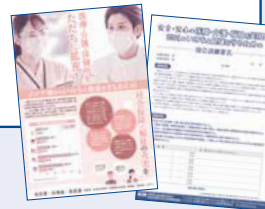
「社会保障と税の大問題」学習リーフレットを活用し学習活動を広げよう



「社会保障と税の一体改革」「全世代型社会保障」のもとで行われている政府の施策は、全く社会保障の拡充になっていません。「社会保障と税の大問題」学習リーフレット(2022年版)を活用して、分会や群など身近なところで積極的に情勢学習を広げましょう!

3

署名を集めて私たちの声を国会に届けよう



6月に「安全・安心の医療・介護・福祉を実現し、国民のいのちと健康を守るための国会請願署名」に取り組んでいます。医師・看護師の増員と処遇改善、保健所の増設と国民負担軽減等を求めて、国民が安心して暮らせる社会の実現のための請願署名です。多くの仲間の署名を国会に届けます。

土建国保加入の方必見

新型コロナウイルス感染症にかかる 「感染症手当金の適用期間延長」と「保険料の減免」を実施

1

感染症手当金の適用期間延長

感染症により、4日以上仕事を休んで入院療養・自宅療養・宿泊療養を受けた国保組合員、かつ給与の支払いがない(または減少した)被保険者に対する「感染症手当金」の適用期間を、9月30日まで延長します。



2

感染症の影響により収入が減少した被保険者等にかかる保険料減免の実施

感染症の影響により「世帯主が死亡または重篤な傷病を負った」、「収入が2021年または2019年より30%以上減少した」ことにより、生活が著しく困難になった組合員を対象とし、死亡または重篤の場合は4カ月、収入が減少した場合は、減少割合に応じ2023年3月までの保険料のうち4カ月～2カ月(2019年との比較の場合2カ月)分の保険料を減免します。申請受付開始は7月1日です。

春の拡大月間で 4270人の仲間

6月1日で11万1193人の組織に



困ったときには東京土建

長引くコロナ禍の中で取り組まれた春の拡大月間は、4270人の新しい仲間をむかえ、目標の1月現勢3.5%3905人を達成し、東京土建は6月1日で11万1193人の組織となりました。

この春に仲間に加わったすべてのみなさんを歓迎し、目標達成に向けて奮闘されたすべてのみなさんに改めて敬意を表します。

仲間のみなさん、コロナの影響で困っている方は周りにいませんか?東京土建は「困った仲間をひとりにさせない」を合言葉に、仲間の状況を聞き取り、その声に寄り添いながら仲間を増やし、数々の要求を実現させてきました。仲間の皆さん、受注先から無理な法人化、外注化を押し付けられていませんか?将来は独立したい。独立したけど法人設立したらどんな義務が生じるの?仕事上

役員・活動家のみなさん

の事故に備えるには?資格を取りたい。引き渡しが終わって請求したら支払い時にカットされる、病気やケガで仕事を休まなければならぬ、等々、コロナの影響だけではなく仕事のこと、くらしのこと、そのような時こそ東京土建にご相談ください。

また「組合に入ってどんなメリットがあるの?」「東京土建国保の制度内容は?」等、分からないことは、お気軽に所属先の役員、あるいは支部事務所にお問い合わせください。

これから迎える夏の期間は、この春に加入した仲間をメインに声を聞き、新たな仲間とのつながりを作る期間にしていきたいです。そして、未加入の仲間の紹介を訴えましょう。引き続き相談活動や自治体要求運動をすすめ、仲間に関わり添う行動を継続していきたいです。

春の拡大月間で加入された4270人の仲間のみなさん、東京土建へようこそ!困ったときには組合にご連絡を!周りの仲間にも東京土建を勧めてください。春の拡大月間で「尽力いただいた役員・活動家をはじめすべてのみなさん!」2カ月にわたる連日連夜のご奮闘、大変おつかれさまでした。